

平成 17 年 3 月 18 日
気 象 庁 観 測 部

配信資料に関する技術情報(気象編)第 190 号

～ 広域雲解析情報図(南半球版)の提供開始について～

気象庁では、航空機の安全かつ効率的な運行に寄与するため、航空機の運行に大きな影響を及ぼす気象現象を抽出しその分布状況を示す図情報(「広域雲解析情報図」: FAX 図)をユーザーに提供しています。

これまで広域雲解析情報図は日本を中心とする北半球エリアについての情報図でしたが、今般新たに南半球エリア版の「広域雲解析情報図」の提供を開始します。

記

情報名: 広域雲解析情報図(南半球)

提供形態: FAX 図

冒頭符号(ヘッダ): TSAS2

画種情報: QNIA20(21時～11時 UTC 南半球), 画種番号: 127

画種情報: QNIA21(12時～20時 UTC 南半球), 画種番号: 128

提供頻度: 毎時(毎正時 30 分までに配信の予定)

北半球版は従来通り毎正時 15 分までに配信

掲載要素: 雲頂高度、雲型、雲域等(別添サンプル参照)

描画範囲: 経度: 東経 90°～180°～西経 170°、緯度: 0°～南緯 60°
で囲まれる範囲

提供開始日時: 平成 17 年 3 月 29 日 03 時(UTC)の情報から